

会 議 録

会議の名称	令和元年度 第1回 池田市男女共同参画審議会
日 時	令和元年6月28日(金) 開会 午後1時 ・ 閉会 午後2時40分
場 所	池田市役所4階 府小会議室
出 席 者	<p>《審議会委員》 有澤委員、山本委員、藤田委員、林委員、谷田委員、西村委員、緒方委員、村田委員、入江委員、佐々木委員、松本委員、北村委員、岸本委員、禰久委員</p> <p><事務局> 中田部長、上松課長、入江主任主事</p>
欠 席 者	高橋委員
会 長	有澤委員
議 題	<p>1. 平成30年度男女共同参画事業報告について</p> <p>2. 令和元年度男女共同参画事業計画について</p> <p>3. 委員会・審議会等への女性の参画状況について</p>
配 布 資 料	<p>①次第</p> <p>②池田市男女共同参画審議会(冊子)</p> <p>③池田市男女共同参画審議会名簿</p>
傍 聴 者	なし
問 合 せ 先	<p>池田市市民生活部人権・文化国際課 072-752-1111 内線267 072-754-6231(ダイヤルイン) mail:j-bunka@city.ikeda.osaka.jp</p>
日 時	令和元年6月28日(金) 開会 午後1時 ・ 閉会 午後2時40分

議 事 経 過

1. 会長・副会長の選出

互選により決定

会長：有澤委員 副会長：山本委員

2. 平成30年度男女共同参画事業報告について

3. 令和元年度男女共同参画事業計画について

4. 委員会・審議会への女性の参画状況について

2・3・4について事務局より説明後、次のような質問及び質疑・応答がありました。

委 員：行政委員会の女性委員の割合が低いのが気になります。女性委員の割合が低い審議会などには、是正の勧告をすることが必要であると思います。

女性委員がいない審議会などには、最低でも一人は女性委員を入れてくださいと絶えず言い続けていくことが大事だと思います。

委 員：いつも女性委員がゼロの審議会などには、何故ゼロなのか聞いていたように思います。理由や改善方法の回答を求めているように思います。

事務局：毎年調査を行っていますが、調査結果は庁内の掲示板に載せて、女性委員がゼロや少ない審議会などにつきましては、委員の委嘱換えの時には、女性委員を増やすように努めてもらうようお願いしています。

委 員：市民の安全に関する審議会には女性が少なすぎます。女性の視点が必要な審議会だと思います。

委 員：防災に対する問題意識は男女で違うことは、阪神淡路の震災以来、検証されてきています。それを学んでいかなければならないと思います。

防災には女性の視点が必要であり、女性委員を増やさなければならないということを、要望として担当課に訴え続けていくことが必要です。

事務局：防災に対する行動計画をつくる時には、必ず女性の視点を入れていますが、確かに女性委員は少ないので、女性委員を増やすように訴えていきたいと思いません。

委 員：毎年調査を行い、同じような結果が出ています。このままではいけないので、何とかできないのかと思います。

委 員：以前に市で開催した防災についてのフォーラムに参加してから、興味があったのでネットで調べたのですが、静岡の学校では、東南海地震が予想されているので、中学校ぐらいの家庭科の時間に防災頭巾を作るという課題があるそうで、頭巾の中に数日分の下着を縫い込んでいて、それがクッションになり、かぶると頭を守ることができ、いざという時に縫い込んだ下着が役に立つようにできているそうです。

防災というと理屈や理論だけでなく、具体的に役立つ物を作る、そのような講

座を実施すれば、女性も興味を持ってきて、講座に参加することによって女性も防災意識を持つようになると思うので、そのような講座を行うことが必要だと思います。

委員：避難所に避難してくる子どもの中には、アレルギーを持っている子どももいるので、普段使っている物にどのようなアレルゲンがあるのかを知ってもらうための講座も実施して欲しいです。

会長：他に質問はありますか。

委員：パンフレットは毎年作成しておられるのですか。

事務局：毎年その年のフォーラムのテーマに沿って作成しています。平成30年度は2回目のセミナーのテーマ、「男性の子育て」についての内容で作成いたしました。

事務局：印刷費を予算化して当課で作成しています。

委員：セミナーのことですが、出席者は何故少なかったのでしょうか。

委員：平日の午前中の開催が良くなかったのでしょうか。

事務局：2回目の「男性の子育て」についてのセミナーは、土曜日の開催が良かったのではと思います。

委員：広報の仕方も悪かったのでは。

事務局：広報誌や市のホームページ、チラシも小さな子どもさんがいらっしゃるところに配布したのですが、やはり日程が良くなかったと思います。

委員：やはり宣伝が悪かったのではないのでしょうか。

事務局：子どもさんを連れてでも、平日の早い時間帯の方が来てくださるのか、土曜日の方が来てくださるのか考えてみななければいけないと思います。

事務局：テーマによると思うのですが、興味を持ってくださる層の方が、どのような曜日や時間帯を選べば参加してくださるのかもっと考えたいと思います。

会長：他に何かありませんか。なければ事務局から連絡事項がありますか。

事務局：9月と来年の2月頃にセミナーを開催したいと考えています。また、2回目の審議会を9月頃に開催する予定です。

事務局：セミナーの講師は予算も限られており、交通費も含まれているので、府外の方は難しいです。

委員：人寄せができる人が良いのでは。

事務局：人寄せができる有名な人は講師料が高額なので、限られた予算では難しいと思います。

委員：何人かのディスカッション形式で行うのはどうでしょうか。

事務局：ボランティア的に出てくださる方なら良いのでは、参加型のセミナーですね。

事務局：昨年度の審議会でのご意見を参考にいたしまして、1回目は女性差別撤廃条約の解説についての講演で、2回目はターゲットを絞ったテーマで、ディスカッションのような形式で行えたら良いなと思っています。

委員：何故女性差別撤廃条約をテーマに提案したのかというと、女性差別撤廃条約が40周年を迎えるので、40周年記念で何かできれば良いと思ったことと、他市で「女性差別撤廃条約について知っていますか」というアンケートを取った結果、女性差別撤廃条約について知っている人が意外と少なかったので、まだ浸透してないのかなと思い、浸透させた方が良いと思ったからです。

事務局：難しくないような内容で実施できれば良いと思うのですが。

委員：世界経済フォーラムが出しているジェンダーギャップ指数が2018年に114位から110位にはなったのですが、140ぐらいの国の中での110位ですから。

何が悪いかというと、政治や経済の場に係る女性の数が少ないからで、そういうことを知ってもらうためには、女性差別撤廃条約について学んで、色々な場で女性の数を増やしていかなければならないという意識を共有することが必要なので、女性差別撤廃条約についてのセミナーが良いと思います。

会長：他にご意見はありませんか。ないようでしたらこれで本日の審議会を終了いたします。